

記者発表資料

「肝属川水系河川整備計画 -国管理区間-」を策定しました ～ 次世代に伝えよう！より安全・安心な暮らしと水清らかで自然豊かな肝属川 ～

国土交通省大隅河川国道事務所は、今後概ね30年間の肝属川水系(国管理区間)における具体的な河川整備や維持管理等の内容を記載した「肝属川水系河川整備計画」を平成24年8月16日に策定しました。この計画は、平成23年7月より学識経験者の方々や地域の方々、鹿児島県知事及び流域内の関係機関など、さまざまな方々の意見聴取や協議等を経て、本日の策定に至った次第です。

今後、肝属川の川づくりにおいては、本計画に基づき、より一層地域の方々や学識経験者の方々、関係機関等と連携・協働を図りながら推進してまいります。

記

1. 肝属川水系河川整備計画の概要

・別紙参照

2. 策定までの経過

- ・河川整備計画(原案) 公表 平成23年11月16日
- ・河川整備計画(案) 公表 平成24年 2月24日
- ・河川整備計画 策定 平成24年 8月16日

3. 閲覧できる場所

- ①国土交通省大隅河川国道事務所 1階ロビー
〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1 Tel/ 0994-65-2541
- ②国土交通省大隅河川国道事務所 鹿屋出張所
〒893-0012 鹿児島県鹿屋市王子町4540-5 Tel/ 0994-43-0660
- ③国土交通省大隅河川国道事務所 高山出張所
〒893-1206 鹿児島県肝属郡肝付町前田字中渡1515-1 Tel/ 0994-65-2415

4. その他

「肝属川水系河川整備計画-国管理区間-」については、平成24年8月21日(火)より大隅河川国道事務所ホームページに掲載いたします。

○大隅河川国道事務所 ホームページ→「肝属川水系河川整備計画について」

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長

永吉 修平

調査第一課長

薄田 邦貴

広報担当 建設専門官

安達 正敏

鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1

電話(0994)65-2541 (代表)

肝属川水系河川整備計画の概要

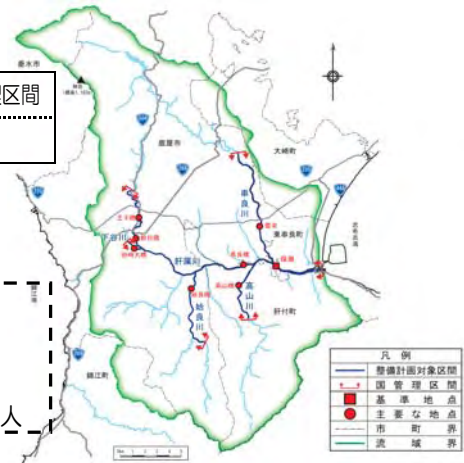
基本理念

～次世代に伝えよう！より安全・安心な暮らしと水清らかで自然豊かな肝属川～

河川整備計画の対象区間：肝属川水系の国管理区間

河川整備計画の対象期間：概ね30年間

- ◆流域面積（集水面積）：485 km²
- ◆幹川流路延長：34 km
- ◆流域内市町：2市4町
鹿屋市、垂水市、肝付町、東串良町、大崎町、錦江町
- ◆流域内人口：約115,000人



治水 ○より安全で安心して暮らせる川づくりを目指します。
○地域と一体となって地域防災力の向上を目指します。

- 河川整備の目標流量を安全に流下させることができない区間に対して、河道掘削、築堤、橋梁等の改築を実施します。
- 堤防の安全性向上対策に関しては、浸透に対する安全性を向上させるためのシラス堤の強化を実施します。
- 内水対策に関しては、鹿児島県の甫木川改修事業と連携して排水能力の向上を図るため、甫木水門改築を実施します。
- 高潮対策に関しては、計画高潮堤防高に対して高さが不足している区間について、高潮越水による浸水被害の発生防止を図ります。
- 地震対策に関しては、想定される地震動に対して、水門、樋管等の河川管理施設に求められる機能の確保に努めます。
- 津波対策に関しては、東日本大震災を踏まえて制定された「津波防災地域づくりに関する法律」の枠組み等に基づき、関係機関等と連携・協力していきます。
- 河道及び河川管理施設等の維持管理に関しては、河道の流下能力の維持、及び河川管理施設の機能維持のため、適切な管理を行います。
- 危機管理に関しては、水位・雨量等の河川情報の提供、マイハザードマップの作成支援などの水防に役立つための多様な取り組みを推進します。

利水 ○山や台地から流れ出る水の恵みと生命（いのち）を育む流れを守ります。

- 河川の適正な利用に関しては、豊富な流量に恵まれており、今後とも関係機関と連携して広域的かつ合理的な水利用を目指します。
- 流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関しては、動植物の生息・生育及び利水等を考慮し、朝日橋地点において、必要な流量の確保に努めます。

環境 ○肝属川らしい自然環境と良好な水辺空間や景観を保全・創出し、次世代に引き継ぎます。
○きれいな流れを取り戻し、子どもたちが川で遊べる環境を守り伝えます。

- 自然環境に関しては、肝属川における多様な生物の生息・生育環境の保全・再生を目指します。
- 水質に関しては、肝属川上流においては、清流ルネッサンスⅡを推進すると伴にその他の肝属川下流や支川についても現状の良好な水質を維持することを目標とし、地域住民や関係機関と連携して水質の改善・保全に努めます。
- 水辺の整備については、利活用されている肝属川の現状を踏まえ、良好な水辺環境の保全・創出に努めます。
- 良好な景観の維持・形成に関しては、地域住民や関係機関と連携してゴミのない美しい肝属川を目指します。